

# 第106期 事業報告書

[平成17年4月1日～平成18年3月31日]

Chemical Products

Laminated Sheets

Building and Housing Materials

Electronics

アイカ工業株式会社



## CONTENTS

---

■ 株主の皆様へ	2
■ セグメント別のご案内	3
■ 企業活動のご案内	5
■ 財務ハイライト	6
■ 財務情報	7
連結決算	
連結貸借対照表／連結損益計算書	
連結剰余金計算書／連結キャッシュ・フロー計算書	
単独決算	
貸借対照表／損益計算書／利益処分	
■ 会社の概要	11
■ 株式の状況	13
■ 株主メモ	14

# 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループ第106期(自平成17年4月1日至平成18年3月31日)の営業の概況をご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、好調な企業収益を背景とした設備投資の増加や雇用・所得環境の改善に伴う個人消費の拡大などにより景気は概ね回復基調となりました。

建築業界においては、耐震強度偽装問題の影響が心配されましたが、住宅市場は、雇用・所得環境が改善していることに加え、金利先高感や地価の下げ止まり、団塊ジュニア世代の住宅取得等が住宅投資の下支え要因となり底堅く推移いたしました。店舗・病院等の非住宅市場も景気回復を背景に堅調に推移いたしました。

このような状況のなかで当社グループは、石油化学製品を原材料とする商品が多く、原油価格高騰に伴う原材料価格の値上がりが業績に大きく影響するため、全社あわせて業務改革の推進、生産効率の向上、コスト削減、不要不急の経費削減を徹底するとともに価格転嫁を図りましたが、原材料価格の値上がりを完全に吸収するには至りませんでした。

一方、各カンパニーのコラボレーションの強化とシナジー効果を追求した取り組みが新商品開発のスピード化に現れてまいりました。また、インドネシアや中国など海外を含む生産拠点の強化拡充にも積極的に取り組んでまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は96,486百万円(前連結会計年度比2.3%増)、経常利益は10,971百万円(前連結会計年度比4.1%増)、当期純利益は6,128百万円(前連結会計年度比2.6%増)となりました。

今後の見通しにつきましては、企業収益の好調さが家計へ波及し、民間需要に支えられ景気回復が続くものと見込まれるものの、原油価格高騰に伴う原材料価格等の値上がりで景気の伸びは鈍化することが懸念されます。

当社グループはこのような状況を十分認識し、市場ニーズを的確に捉えた魅力ある新商品の投入と確実な営業活動による拡販、基幹事業の原価低減、カンパニー間の相互支援の強化、グローバル化に向けた戦略的展開、新基幹系システムの早期定着と業務効率の向上を図り、創立70周年を迎える記念の年に相応しい業績を上げるべく、グループ一丸となって邁進いたしますので、株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年6月



代表取締役会長

富田章嗣



代表取締役社長

渡辺 修



## 化成品セグメント

接着剤系商品は、環境配慮型商品である超低VOC（揮発性有機化合物）品の水系タイプや弾性接着剤が、壁・床の内装材仕上げ用として好評を博しました。樹脂系商品は、可とう性（ひび割れにくい）と低汚染の特長を合わせ持つ新商品「ジョリパットネオ」が、外装仕上塗材としての機能・意匠・素材感で高く評価されました。また、今後成長が期待されます改修市場には、外壁工事などに幅広い使用が見込まれる樹脂注入材や断面修復材を発売いたしました。当セグメントは原油価格高騰に伴う石油化学製品の値上がりの影響を顕著に受けるため、徹底したコスト削減と商品への価格対応を図りましたが、度重なる値上げを十分に吸収できず収益を圧迫いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は27,032百万円（前連結会計年度比0.7%減）となりました。



外装・内装仕上塗材  
ジョリパット  
〈外壁面への使用例〉



環境配慮型接着剤  
Fフォースター（F☆☆☆☆）対応  
アイエコエコボンド

## 建築材セグメント

メラミン化粧板は、大型ショッピングセンターを中心に出店・改装が堅調な商環境市場で、新商品の曲がるメラミン化粧板「アイカメラカーブ」が、容易に曲面貼りが可能になったことにより用途を広げることができました。「アイカピュアコア」をはじめ木口意匠に特長を持つ商品群が引き続き好調で、持続的な成長を図ることができました。また、環境配慮型商品は、特定のVOC（揮発性有機化合物）を含まない化粧合板の品揃えを強化し、医療福祉・教育文化施設に採用されました。壁装材商品については、突板不燃やメタル不燃をはじめ素材感を活かした商品が好評で、病院のホール壁などに多数採用され売上げを伸ばすことができました。

生産面では、多品種・短納期対応力を更に強化し、安定した供給体制を構築したことにより市場での高い信頼と評価を得ることができました。

この結果、当セグメントの売上高は29,425百万円（前連結会計年度比3.1%増）となりました。



アイカピュアコア  
〈店舗への使用例〉



アイカ突板不燃  
〈病院のホール壁への使用例〉



## 住器建材セグメント

不燃化粧材「セラルル」は、新柄・新エンボスの投入と即納体制の確立により、戸建住宅・マンション・病院・学校などの新築需要に加え、洗面・トイレ・賃貸住宅のメンテナンスなどリフォーム需要にも多数採用され売上げを伸ばすことができました。インテリア建材においては、戸建住宅市場がローコスト化に向かい苦戦いたしましたが、メラミン化粧板を使用した「メラフュージョンシリーズ」はその高意匠性を評価され、設計・コーディネート市場で好評を博し新規顧客の獲得に貢献いたしました。カウンターについては短納期システムの確立とR(曲面)スタイル(3次元木口対応)シリーズが市場に浸透し幅広い用途に採用されました。

この結果、当セグメントの売上高は32,103百万円(前連結会計年度比2.7%増)となりました。



**アイカインテリア建材**  
〈室内用ドア・カウンター・  
フロアへの使用例〉



**アイカセラルル  
メラフュージョン・フルーン**  
〈壁面・収納扉・カウンターへの使用例〉

## 電子セグメント

プリント配線板は、高速伝送・電磁波障害対策を必要とする分野に注力し、試作開発からのサポート強化でCS(顧客満足)向上を図ってまいりました。また、RoHS指令(欧州での特定有害物質使用制限)やハロゲンフリー(臭素、塩素の含有量を抑制)などユーザーの環境対策に対処いたしました結果、情報通信、半導体関連などの分野を中心に、パターン設計、小・中ロット品の売上げを伸ばすことができましたが、アミューズメント分野では伸ばすことができませんでした。電子材料は、拡販に注力し樹脂生産技術を生かした対応で売上げを伸ばすことができました。

この結果、当セグメントの売上高は5,795百万円(前連結会計年度比8.9%増)となりました。



**アイカプリント配線板**  
〈高多層インピーダンス整合基板〉

## その他セグメント

有機微粒子は、光拡散剤向けが鈍化したものの化粧品向けのユーザー新規獲得が奏効いたしました。一方、受託加工品である保存剤は低調でした。

この結果、当セグメントの売上高は2,129百万円(前連結会計年度比8.0%増)となりました。

## ジョリパット素材シリーズ「爽土(そうど)」

### 天然の土を使用した「本物志向」「自然志向」の塗壁材

近年「本物志向」「自然志向」が社会全体に広がっており、壁装材においても自然素材を用いた商品への注目が高まってきました。このような志向に応えるため、ジョリパット(外装・内装仕上塗材)と日本古来の土とを独自の配合にてブレンドし、奥深い素材感と重量感に溢れる内装専用の塗壁材「爽土(そうど)」を開発いたしました。高級住宅・商業施設・ホテルや公共施設などに幅広く採用いただけます。



## 曲面・壁面用抗菌メラミン化粧板「アイカ メラカーブ」

### メラミン化粧板の特長を曲面・壁面に実現

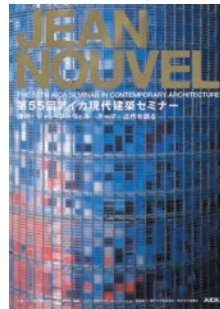
メラミン化粧板は豊富な色柄・表面強度・メンテナンス性など優れた特長から、店舗、医療福祉施設などの家具・什器から一般住宅家具まで幅広い用途で使用されていますが、曲面への加工・施工は制約が多く、シートなどの化粧材が使用されてきました。このたび当社は、メラミン化粧板の物性を持ちながら曲面への施工を可能にした「アイカ メラカーブ」を発売しました。また、環境対応の水性接着剤「アイカエコボンド RA-15」と組み合わせることで施工を容易にしました。



## 「第55回アイカ現代建築セミナー」

講師：ジャン・ヌーヴェル(フランス)  
テーマ：近作を語る

東京は2006年6月28日に「日本青年館大ホール」  
大阪は2006年6月30日に「NHK大阪ホール」にて開催



## アイカ ショップ デザイン コンテスト



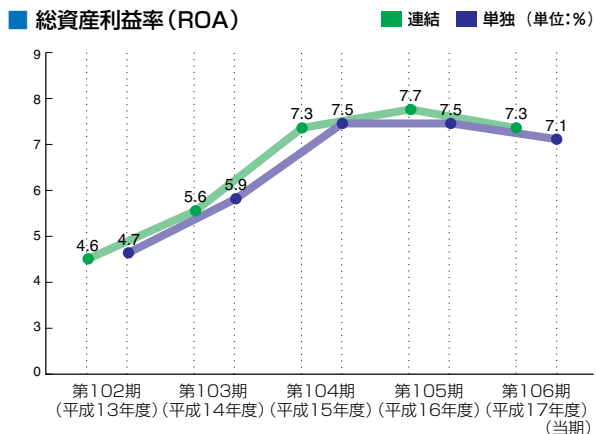
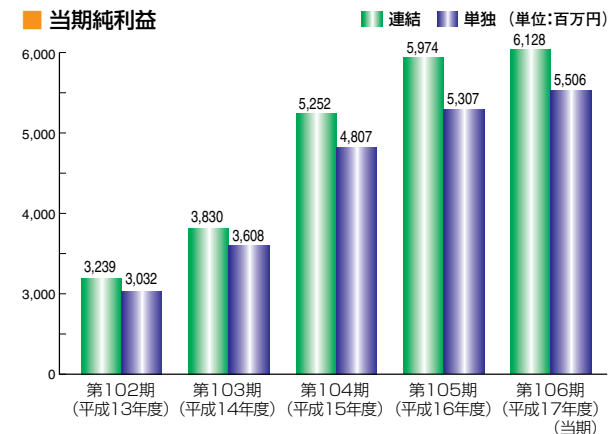
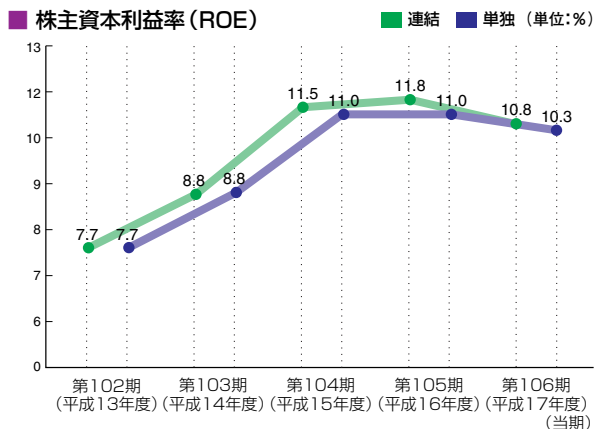
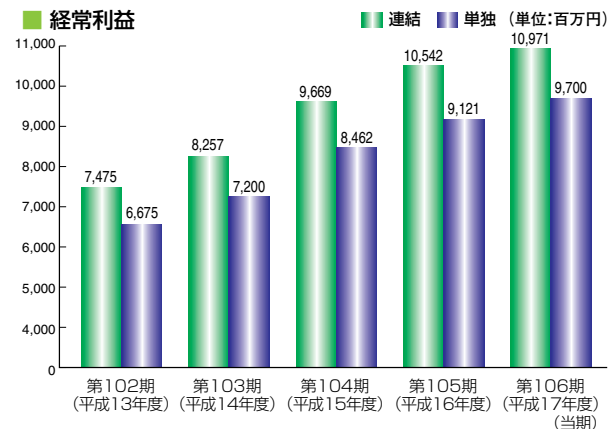
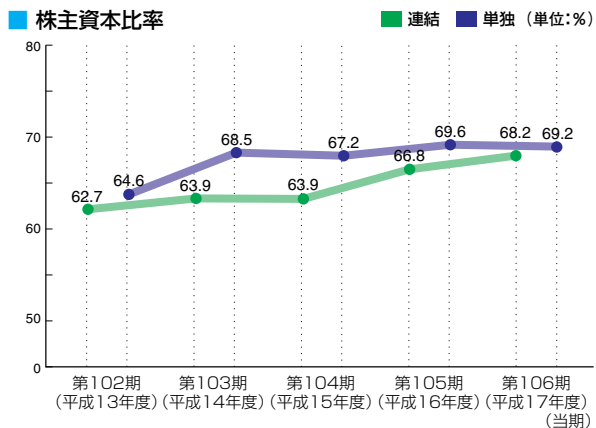
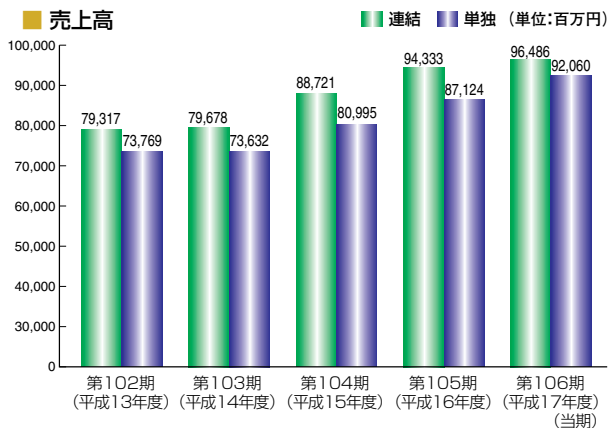
対象作品：2005年10月から2006年9月までに日本国内で竣工した店舗作品  
当社商品を採用いただいた店舗作品

応募期間：2006年4月1日～  
2006年9月30日

## LG化学製「人工大理石」の国内販売権を取得

韓国・ヨーロッパ・アメリカ・中国など世界で、化学製品、情報電子製品、インテリア関連商品などを製造販売する大手化学メーカーの株式会社LG化学(LG Chemical Ltd.)が製造する人工大理石の日本国内独占販売権を当社が取得し「アイカ ハイマックス」として販売することとなりました。「アイカ ハイマックス」は、強度・耐久性・防汚性などの機能面、優れた意匠と豊富な色・柄などを備えております。特に石目調人工大理石「セレスシリーズ」は、石目が均一で、どこをカットしても同様の模様が現れる特長を備えております。







## 連結決算

### ● 連結貸借対照表

(単位:千円)

科 目	当連結会計年度 (平成18年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成17年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>59,401,700</b>	<b>55,963,329</b>
現金および預金	17,334,537	17,189,408
受取手形および売掛金	35,292,926	31,969,496
有価証券	—	487,440
たな卸資産	4,769,617	4,532,890
繰延税金資産	802,000	777,230
その他の流動資産	1,232,851	1,059,905
貸倒引当金	△30,232	△ 53,042
<b>固定資産</b>	<b>28,238,745</b>	<b>24,520,172</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>16,013,446</b>	<b>16,630,622</b>
建物および構築物	7,151,141	7,031,400
機械装置および運搬具	3,863,496	3,973,544
工具、器具および備品	983,441	889,801
土地	3,626,260	4,444,819
建設仮勘定	389,106	291,056
<b>無形固定資産</b>	<b>2,409,462</b>	<b>1,250,487</b>
連結調整勘定	—	214,596
ソフトウェア仮勘定	1,849,863	—
その他の無形固定資産	559,599	1,035,891
<b>投資その他の資産</b>	<b>9,815,835</b>	<b>6,639,062</b>
投資有価証券	8,473,750	5,260,087
長期貸付金	53,969	53,619
前払年金費用	—	84,472
繰延税金資産	35,653	12,891
その他の投資	1,277,623	1,262,777
貸倒引当金	△ 25,161	△ 34,785
<b>資産合計</b>	<b>87,640,445</b>	<b>80,483,501</b>

科 目	当連結会計年度 (平成18年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成17年3月31日現在)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>25,309,252</b>	<b>25,107,265</b>
支払手形および買掛金	15,964,533	16,044,821
短期借入金	3,508,245	3,439,735
未払法人税等	2,290,269	2,197,860
未払消費税等	182,987	231,854
賞与引当金	1,194,980	1,144,346
その他の流動負債	2,168,235	2,048,647
<b>固定負債</b>	<b>2,002,234</b>	<b>1,151,035</b>
繰延税金負債	1,139,889	311,349
退職給付引当金	369,950	418,773
役員退職引当金	227,664	233,219
連結調整勘定	24,070	—
その他の固定負債	240,659	187,693
<b>負債合計</b>	<b>27,311,486</b>	<b>26,258,301</b>
<b>少数株主持分</b>		
少数株主持分	549,829	433,362
<b>資本の部</b>		
資本金	9,891,708	9,891,708
資本剰余金	13,744,651	13,744,584
利益剰余金	36,390,156	31,798,839
株式等評価差額金	2,640,842	1,337,312
為替換算調整勘定	25,255	△ 75,382
自己株式	△ 2,913,485	△ 2,905,224
<b>資本合計</b>	<b>59,779,129</b>	<b>53,791,837</b>
<b>負債・少数株主持分および資本合計</b>	<b>87,640,445</b>	<b>80,483,501</b>

◎記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## ●連結損益計算書

(単位:千円)

科 目	当連結会計年度 (平成17年4月1日～ 平成18年3月31日)	前連結会計年度 (平成16年4月1日～ 平成17年3月31日)
経常損益の部		
営業損益の部		
売上高	96,486,007	94,333,718
売上原価	69,511,951	68,238,835
売上総利益	26,974,055	26,094,882
販売費および一般管理費	16,073,858	15,583,028
営業利益	10,900,197	10,511,853
営業外損益の部		
営業外収益	255,711	285,625
営業外費用	184,310	255,111
経常利益	10,971,598	10,542,367
特別損益の部		
特別利益	211,871	117,173
特別損失	704,442	402,630
税金等調整前当期純利益	10,479,027	10,256,909
法人税・住民税および事業税	4,373,481	4,053,247
法人税等調整額	△110,853	145,853
少数株主利益	88,291	83,418
当期純利益	6,128,107	5,974,391

◎記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## ●連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科 目	当連結会計年度 (平成17年4月1日～ 平成18年3月31日)	前連結会計年度 (平成16年4月1日～ 平成17年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,998,796	9,479,358
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,415,207	△ 3,406,158
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,479,847	△ 456,575
現金および現金同等物に係る換算差額	41,387	△ 10,346
現金および現金同等物の増減額	145,128	5,606,277
現金および現金同等物の期首残高	17,189,408	11,583,131
現金および現金同等物の期末残高	17,334,537	17,189,408

◎記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## ●連結剰余金計算書

(単位:千円)

科 目	当連結会計年度 (平成17年4月1日～ 平成18年3月31日)	前連結会計年度 (平成16年4月1日～ 平成17年3月31日)
<資本剰余金の部>		
資本剰余金期首残高		
資本準備金期首残高	13,744,584	13,299,652
資本剰余金増加高		
自己株式処分差益	67	444,931
資本剰余金期末残高	13,744,651	13,744,584
<利益剰余金の部>		
利益剰余金期首残高		
利益剰余金期首残高	31,798,839	27,345,627
利益剰余金増加高		
当期純利益	6,128,107	5,974,391
利益剰余金減少高		
配当金	1,460,689	1,444,880
役員賞与	76,100	76,298
利益剰余金期末残高	36,390,156	31,798,839

◎記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## 単独決算

## ●貸借対照表

(単位:千円)

科 目	第106期 (平成18年3月31日現在)	第105期 (平成17年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>54,816,445</b>	<b>50,284,490</b>
現金預金	15,730,361	15,719,485
受取手形	12,311,845	11,023,756
売掛金	21,919,665	18,706,115
有価証券	—	487,440
たな卸資産	2,987,393	2,694,314
繰延税金資産	663,726	640,268
その他	1,234,600	1,060,169
貸倒引当金	△ 31,148	△ 47,058
<b>固定資産</b>	<b>26,319,572</b>	<b>22,841,646</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>11,858,546</b>	<b>12,210,587</b>
建物	5,216,376	5,179,629
構築物	742,755	803,301
機械および装置	2,124,751	2,347,074
車輛運搬具	47,055	30,832
工具、器具および備品	812,075	727,896
土地	2,579,399	3,051,487
建設仮勘定	336,132	70,365
<b>無形固定資産</b>	<b>2,357,883</b>	<b>942,750</b>
ソフトウェア	334,845	274,256
ソフトウェア仮勘定	1,849,863	628,119
営業権	130,283	—
諸加入権	42,892	40,374
<b>投資その他の資産</b>	<b>12,103,142</b>	<b>9,688,308</b>
投資有価証券	8,702,644	5,532,342
子会社株式	2,190,946	2,847,778
子会社出資金	338,611	338,611
出資金	52,529	52,509
長期貸付金	43,270	47,105
長期前払費用	158,249	185,677
前払年金費用	—	84,472
その他の投資その他の資産	642,052	633,372
貸倒引当金	△ 25,161	△ 33,561
<b>資産合計</b>	<b>81,136,017</b>	<b>73,126,137</b>

科 目	第106期 (平成18年3月31日現在)	第105期 (平成17年3月31日現在)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>23,242,815</b>	<b>21,634,659</b>
支払手形	395,609	777,290
買掛金	15,211,219	13,794,699
短期借入金	2,750,000	2,600,000
未払金	606,392	431,481
未払費用	991,234	907,981
未払法人税等	2,041,517	1,928,301
未払消費税等	165,389	198,012
賞与引当金	1,033,000	956,000
その他の流動負債	48,450	40,892
<b>固定負債</b>	<b>1,748,074</b>	<b>564,016</b>
預り保証金	201,078	150,464
退職給付引当金	210,003	—
役員退職引当金	195,895	199,866
繰延税金負債	1,111,846	213,686
長期末払金	29,251	—
<b>負債合計</b>	<b>24,990,889</b>	<b>22,198,676</b>

## 資本の部

<b>資本金</b>	<b>9,891,708</b>	<b>9,891,708</b>
<b>資本剰余金</b>	<b>13,752,782</b>	<b>13,752,714</b>
資本準備金	13,277,609	13,277,609
その他資本剰余金	475,172	475,105
自己株式処分差益	475,172	475,105
<b>利益剰余金</b>	<b>32,804,631</b>	<b>28,861,888</b>
利益準備金	1,622,876	1,622,876
任意積立金	15,667,689	14,173,051
配当準備積立金	99,000	99,000
退職積立金	220,000	220,000
別途積立金	15,157,562	13,657,562
圧縮積立金	191,126	196,489
当期末処分利益	15,514,065	13,065,959
<b>株式等評価差額金</b>	<b>2,609,491</b>	<b>1,326,373</b>
<b>自己株式</b>	<b>△ 2,913,485</b>	<b>△ 2,905,224</b>
<b>資本合計</b>	<b>56,145,127</b>	<b>50,927,461</b>
<b>負債および資本合計</b>	<b>81,136,017</b>	<b>73,126,137</b>

◎記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。



## ● 損益計算書

(単位:千円)

科 目	第106期 (平成17年4月1日~ 平成18年3月31日)	第105期 (平成16年4月1日~ 平成17年3月31日)
経常損益の部		
営業損益の部		
売上高	92,060,727	87,124,123
売上原価	68,054,229	64,563,052
販売費および一般管理費	14,628,431	13,681,288
営業利益	9,378,066	8,879,783
営業外損益の部		
営業外収益	478,474	438,304
営業外費用	155,722	196,135
経常利益	9,700,818	9,121,952
特別損益の部		
特別利益	192,467	111,579
特別損失	686,917	374,226
税引前当期純利益	9,206,368	8,859,305
法人税・住民税および事業税	3,750,000	3,490,000
法人税等調整額	△ 50,585	62,286
当期純利益	5,506,953	5,307,018
前期繰越利益	10,775,964	8,489,332
中間配当額	730,332	730,391
合併に伴う子会社株式消却額	38,521	—
当期末処分利益	15,514,065	13,065,959

◎記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## ● 利益処分

(単位:円)

摘 要	第106期	第105期
(1)当期末処分利益の処分		
当期末処分利益	15,514,065,230	13,065,959,755
圧縮積立金取崩額	2,390,703	5,362,723
これを次のとおり処分いたします。		
利益配当金	863,076,825 (1株につき13円)	730,357,826 (1株につき11円)
役員賞与金 (取締役に対する賞与金)	69,000,000 (60,000,000)	65,000,000 (56,000,000)
(監査役に対する賞与金)	9,000,000	9,000,000
別途積立金	1,500,000,000	1,500,000,000
次期繰越利益	13,084,379,108	10,775,964,652
(2)その他資本剰余金の処分		
その他資本剰余金		
自己株式処分差益	475,172,741	475,105,198
これを次のとおり処分いたします。		
その他資本剰余金次期繰越額		
自己株式処分差益	475,172,741	475,105,198

(注) 1.平成16年12月10日に第105期中間配当730,391,860円(1株につき普通配当11円)および平成17年12月9日に第106期中間配当730,332,053円(1株につき普通配当11円)を実施しました。  
2.圧縮積立金取崩額は、法人税法および租税特別措置法の規定による取崩額であります。

## プロフィール

- 社名 アイカ工業株式会社
- 本社 愛知県清須市西堀江2288番地
- 電話 052(409)8000〔案内〕
- 設立 昭和11年10月20日
- 資本金 98億9,170万8,792円
- 事業所

〔生産拠点〕 本社工場（愛知県）

甚目寺工場（愛知県）

福島工場（福島県）

広島工場（広島県）

茨城工場（茨城県）

〔開発拠点〕 R&Dセンター（愛知県）

R&Dセンター福島（福島県）

〔営業拠点〕 札幌支店（北海道） 静岡支店（静岡県）

仙台支店（宮城県） 金沢支店（石川県）

盛岡営業所（岩手県） 大阪支店（大阪府）

福島出張所（福島県） 京滋営業所（京都府）

東京支店（東京都） 神戸支店（兵庫県）

埼玉支店（埼玉県） 広島支店（広島県）

宇都宮営業所（栃木県） 岡山営業所（岡山県）

柏出張所（千葉県） 高松支店（香川県）

千葉営業所（千葉県） 福岡支店（福岡県）

横浜支店（神奈川県） 鹿児島営業所（鹿児島県）

北関東支店（群馬県） 関東支店（東京都）

新潟営業所（新潟県） 中部支店（愛知県）

松本営業所（長野県） 関西支店（大阪府）

名古屋支店（愛知県）

## ■主要製品

〔化成品セグメント〕

外装・内装仕上塗材、塗床・壁材、各種接着剤など

〔建装材セグメント〕

メラミン化粧板、化粧合板など

〔住器建材セグメント〕

玄関・室内用ドア、インテリア建材、カウンター、不燃化粧材、収納扉など

〔電子セグメント〕

プリント配線板、電子システム商品、電子材料など

〔その他セグメント〕

有機微粒子、保存剤など

## ■連結子法人等

〔会社名〕	〔所在地〕	〔主要な事業内容〕
アイカインテリア工業株式会社	愛知県	住器建材製造
アイカハリマ工業株式会社	兵庫県	建装材・住器建材製造
アイカ電子株式会社	岐阜県	電子製品製造
ガンツ化成株式会社	大阪府	化成品・その他製造販売
アイカインドネシア社	インドネシア	化成品・建装材・住器建材製造販売
テクノウッド社	インドネシア	建装材製造

## 取締役・監査役および執行役員

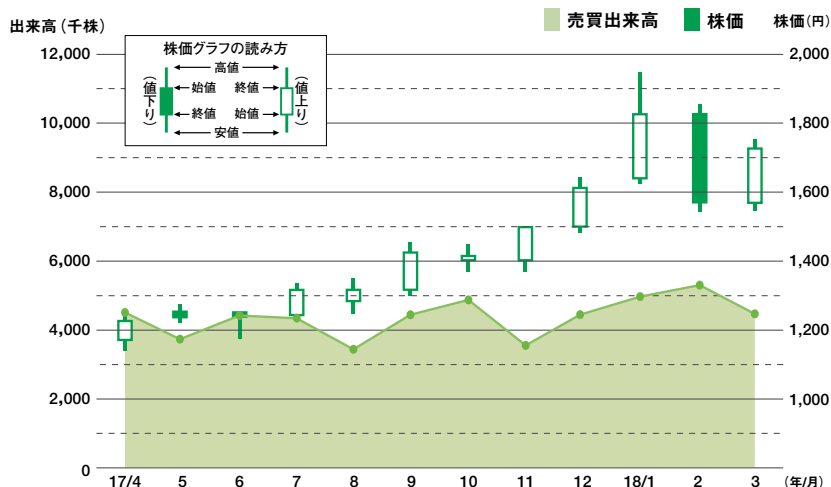
[代表取締役会長]	富田 章嗣
[代表取締役社長]	渡辺 修
[専務取締役]	野田 近
[常務取締役]	佐治 一良
[取締役]	岩田 照徳
[取締役]	堀田 益之
[取締役]	森永 博之
[取締役]	伊東 善光
[常勤監査役]	深田 卓朗
[常勤監査役]	酒井 眞孝
◎[監査役]	佐藤 純二
◎[監査役]	福井 清晃
◎[監査役]	浦部 康資
[執行役員]	岩瀬 幸廣
[執行役員]	相馬 治夫
[執行役員]	田中 彰
[執行役員]	磯貝 透
[執行役員]	小野 勇治
[執行役員]	岡田 賢児
[執行役員]	阿久根 善裕

(注) ◎印は、社外監査役であります。

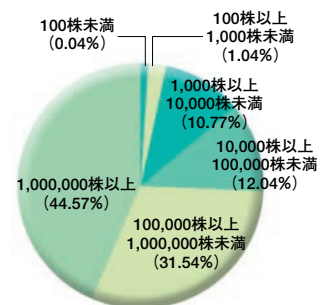


● 発行済株式の総数…69,890,664株 ● 株主数…7,880名

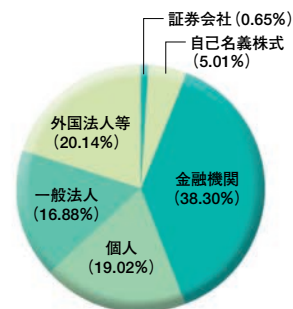
## 株価・売買出来高の推移 (東京証券取引所)



## 【所有株数別分布状況】



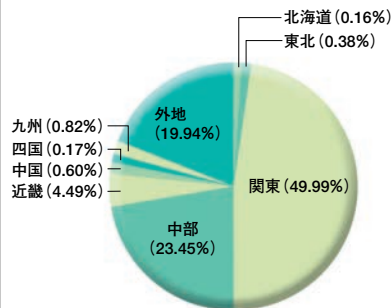
## 【所有者別分布状況】



## 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,040	9.11
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,741	7.15
ジェーピー モルガン チェース バンク 385050	2,341	3.53
東京海上日動火災保険株式会社	1,863	2.81
バンク オブ ニューヨーク ヨーロッパ リミテッド ルクセンブルク 131800	1,585	2.39
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,387	2.09
デクシア ビーアイエル プール ジュリアス ベアー マルチパートナーマルチストック	1,337	2.02
アイカ工業取引先持株会	1,336	2.02
住友生命保険相互会社	1,318	1.99
電気化学工業株式会社	1,229	1.85

## 【地域別分布状況】



※当社は自己株式3,500千株を保有しておりますが、当該株式には議決権がないので、上記大株主から除いております。

■ 事業年度	4月1日～翌年3月31日
■ 期末配当金受領株主 確定日	3月31日
■ 中間配当金受領株主 確定日	9月30日
■ 定時株主総会	毎年6月
■ 株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
■ 同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話無料)
■ 同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
■ 上場証券取引所	東京・名古屋
■ 公告掲載方法	公告掲載URL <a href="http://www.aica.co.jp/">http://www.aica.co.jp/</a> (ただし、電子公告によることが出来ない事故、 その他やむを得ない事由が生じた時には、日本 経済新聞に公告いたします。)

(お知らせ)

● 株式に関する手続き用紙のご請求について

株式に関するお手続き用紙(届出住所・印鑑・姓名等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書、名義書換請求書等)のご請求につきましては、左記株主名簿管理人にてお電話ならびにインターネットで24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

電話 0120-244-479 [三菱UFJ信託銀行本店証券代行部] (通話無料)

電話 0120-648-479 [三菱UFJ信託銀行大阪証券代行部] (通話無料)

インターネットアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

なお、株券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご照会ください。

住まい空間を演出する

**AICA**